

<全体分析>

試験時間 2科目で120分

解答形式

記述式, 選択式, 論述式, 計算

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年同様, 大問4題であった。例年, 理論分野2題と有機分野2題だが, 昨年とは異なり1題が理論分野ではなく無機分野から出題された。論述問題が2問あった。

その他トピックス

大問3の問1は, オゾン分解の知識を必要とした。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 選択 論述 計算	熱化学	化学	生成熱, ヘスの法則, 結合エネルギー, 格子エネルギー, 溶解熱, 水和熱 【論述】一酸化炭素の生成熱を実験で直接測定するのが難しい理由(字数制限なし)	標準
2	記述 選択 計算	無機化学	化学	アルカリ金属の性質, 遷移金属元素, 金属イオンの分離と沈殿物の性質, 錯イオンの化学式, ダニエル電池の電極の質量変化	やや易
3	記述	有機化合物	化学	炭素数10のモノテルペンのオゾン分解による構造決定, 分子式 $C_{10}H_{14}O$ の構造決定とその誘導体, 立体異性体の数	標準
4	記述 選択 論述 計算	高分子化合物 有機化合物	化学	デンプンとセルロースの構造と反応, 高分子化合物, ヨウ素デンプン反応, 有機化合物の性質と反応, アミロペクチンの枝分かれの数 【論述】ヨウ素デンプン反応を示した水溶液を加熱すると色が消え, 冷却すると再び呈色する理由(80字程度)	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- 教科書の発展内容を題材に出題されることもあるので, 教科書をしっかりと読んで基本事項から確認しておこう。
- 論述問題の対策は, 用語や現象の内容を深く理解して, キーワードとなる用語を用いて説明できるように練習をしておこう。
- 煩雑な計算を伴う問題が出題されることもあるので, 素早く解答の方針を立てて, 計算を実行する練習をしておこう。
- 目新しい題材の出題もいくつか見られるが, 問題文を正確に読めば解答できる問題である。日頃の問題演習で, 問題文の意味を正確に読み取る練習をしておこう。